

(その149) 格差と貧困が広がる中人と人とのつながりを大切に (2018.2 発行)

「くらしの相談センター」が、本年9月、開設15周年を迎えられるとのこと誠におめでとうございます。また、宮原所長ならびにスタッフの皆さまの大奮闘に対し、心より敬意を表するものです。

「かながわ生活相談ネットワーク」は、今春、結成3年目を迎えるという、まだまだ「若き」組織ですが、6年前の準備段階より「くらしの相談センター」の相談実績・諸経験から、最大限の勇気・元気をいただき、いつもネットワークの宝物として、全県への普及をめざしてきました。愛読しております。

#### 様々な相談を受けてその波及効果が

「くらしの相談センター」最新号を読みますと、昨年の相談件数が321と件あります。なんと1ヵ月に26件強、毎月毎日様々な相談を受けていることとなります。これはもはやスーパーマン的相談活動で、宣伝・組織・財政活動の全てにわたって、自覚的勢力の中で席卷しております。

さらに、コンサート、セミナー、年末パーティー、旅行会、バザーなど多彩な企画にも取り組み、格差と貧困の広がる社会の下、人と人との絆を再構築し、究極の「人間力」をも育んでおられます。

いま、その「波及効果」が少しずつ現れ、川崎幸区の「相談センター」開設、中原区の「経営サポートセンター」での相談開始、横浜・各行政区での相談活動見直しへと確実に繋がっております。

「ゆりかごから墓場まで」様々な相談事に真面目により添い、共に学び共にたたかう。そして、専門職との強力なネットワークを通じて、問題を解決していくことは「かながわ生活相談ネットワーク」のメインテーマであります。これからも、「くらしの相談センター」の活動を教訓にして、縦横無尽に相談活動を展開していきたいと考えます。共に切磋琢磨し「世直し」をめざし頑張りましょう。

かながわ生活相談ネットワーク

斎藤 信夫